

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要					
事業開始年度 平成17年3月22日 ~					
総合計画	大項目	基本目標	06	健全で自立したまちづくり	根拠法令・例規等 備前市議会だより発行規程
	中項目	基本施策	01	簡素で効率的な行政運営	
	小項目	施策	09	その他事務管理(議会)	
	事務事業名		04	市議会広報事業	
					担当課(室) 議会事務局
					職・氏名 庶務調査係長・石村享平
					電話 0869-64-1803
				このシート作成に要した時間	4.0 時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	市内の選挙人(議員を送り出した市民)、全国の地方議会関係者及び地方議会に関心を持つ人
目的(何のために)	議会の状況、議員の活動を市民に伝え、市議会への関心と理解を深め、開かれた議会を実現するため
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	議会や議員の活動に関する情報を積極的に発信することで、市議会へ目を向けてもらう。議会を身近に感じていただくことは議員に対して良い刺激となり、議員を送り出した市民の関心をもとに議員の向上心を高めたい。

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
目的を達成するために実施した事業	市議会だより発行事務	開かれた市議会を目指し、積極的に議会情報を発信する手法として、議員自ら編集した広報紙を毎定例議会終了の翌々月に発行している。(年4回/5月・8月・11月・2月) また、議会構成替えや緊急事案については臨時号を発行している。  視覚障がい者に向け「声の市議会だより」を作成し、対象者に送付している。	
	ホームページ更新事務	開かれた市議会を目指し、積極的に議会情報を発信する手法として、速報性の高いインターネットによる情報発信のため、備前市ホームページに議会ページの掲載を行っている。  常に更新を行うとともに、掲載メニューの充実にも努めている。  【発信情報】 会議情報 次期定例会、委員会等の開催日程のお知らせ 議会構成 議員名簿(氏名・住所・連絡先)、委員会所属別・会派別名簿 議会議程 本会議の生中継、一般質問の録音中継 請願・陳情 提出の方法や議会での取り扱いの説明など 審議結果 議案や請願の審議結果(可否)、採決時の議員の賛否状況の映像 会議録 本会議(平成7年以降)、委員会(平成22年~) その他情報 政務調査費収支報告、議長交際費支出状況、市議会だより、委員会視察報告、他市町村からの視察状況	
	問い合わせ対応事務	市議会に対する問い合わせについて対応する。  電話での問い合わせへの対応(文書回答も含む) 文書、電子メールでの問い合わせへの回答返信 市民意識調査(自由意見)への回答	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費		2,266	2,883	2,826	
	必要人員(人件費)	千円	0.37人	3,192	0.34人	2,936
	事業費		5,458	5,819	6,131	
	国県支出金					
受入金						
その他( )						
一般財源						
受益者負担率	%		5,458	5,819	6,131	
結果指標名			単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	広報紙での情報提供回数		説明	議会情報が広報された記事の回数 (H19.7月までは広報びげん、8月以降は市議会だよりを単独発行)		
	結果指標量	頁	66.0	78.0	78.0	
	対前年増減率	%		118.2%	100.0%	
	活動コスト	円	4,210,580	4,808,880	5,144,350	
単位当たりコスト			63,797	61,652	65,953	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
市議会だよりでの議会情報提供率	目標値(A)	65.0%	65.0%	65.0%	65.0%
	実績値(B)	51.5%	51.2%	52.2%	到達目標値
	達成率(B/A)	79.23%	78.77%	80.31%	65.0%
成果指標設定の考え方・式や説明					
議会・委員会・案内等の情報頁数	議会だよりの年間総頁数のうち、議会・委員会・議会案内等の情報が掲載された割合				
議会だより総頁数	(議員個人の質問内容記事を除く議会情報の広報割合)				

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E>  <b>B</b>
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E>  <b>C</b>
有効性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A-E>  <b>C</b>
	目的達成度		
市民参画度			

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	専門家による議員研修会を開催し、議員の紙面づくりを支援するとともに議会だより編集委員会を活性化させる。広報紙の仕様を検討する。					

総合評価	
備前市まちづくり基本条例に基づき、市議会の役割を果たすとき、情報公開の手法として広報事業は不可欠である。情報の受け手に情報ネットワークの整備が必要であることを考慮すると、市議会だよりの充実は無効な手法である。市議会だより編集委員会は読み手のニーズにあった紙面づくりを意識した編集が必要となる。	評価区分 <A-E>  <b>C</b>

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	議会情報の有効な公開方法を模索するため、市議会だより、ホームページ以外で市民に市議会の活動を理解してもらう方法を検討する。					

事業の目的、対象内容を考えてながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項  
留意事項の目的が、その事業の目的と異なる場合、その事業の目的に照らして評価を行う。また、その事業の目的に照らして評価を行う。また、その事業の目的に照らして評価を行う。